



一本のトーチに託されるそれぞれの思い ～市内を駆けつけた聖火ランナー～

みんなの声援を届けよう

1年間の延期を経て迎える今回の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」には、甲賀市出身の選手も出場されています。7月23日の開会式から現在も熱戦が繰り広げられており、パラリンピックにおいては8月24日から開幕予定。ホストタウンとして交流のあるパラリンピック・シंगाポール選手団も出場されます。出場される選手が活躍される姿にみんなが元気になれる、そんな大会となるようオール甲賀で声援を送りましょう。

甲賀市では12人のランナーが思いをつなぐ

5月28日(金)、水口スポーツの森をスタートに、市役所までのルートに12人のランナーが聖火をつなぎました。コロナ禍で従来のような沿道から多くの声援は送れませんでした。が、これまでのたくさんの方々の思いが1本のトーチに託されていく姿に私たちは多くの元気と感動をもらいました。甲賀市出身の聖火ランナー6人に走り終えた思いをお聞きしました。

日程
● オリンピック
7月23日(金)～8月8日(日)
● パラリンピック
8月24日(火)～9月5日(日)

田中彩也香さん

これまで何千人もの方々がつないできた聖火にすごく感動しました。せつかくいただいたチャンスなのでたくさんの方々に感謝の気持ちをもって走ることを意識しました。普段から学校、クラブ、家などで、たくさんの方々に支えてもらって生活ができていたので、たくさんの方々に感謝の気持ちをもって走りました。



宇田秀生さん

貴重な体験ですし、楽しんで走りたいなという思いでした。ここまで来るのにたくさんの方に支えてもらってきました。支えてもらった人たちに恩返しできるように頑張りたいと思います。パラリンピックは初めてですし、オリンピックの舞台をどんなものか知りたいなと思っています。

町野功さん

緊張しましたが、何とか頑張ることができました。コロナ禍の現状が1日でも早く脱却できるように、少しでも皆さんが笑顔になれるような走りがしたいなと思いました。200Mを走ることができて、沿道で見ていただいている方々の笑顔を見ることができて本当に良かったです。



谷口晴香さん

沿道ではたくさんの方々が見に来ていただきましたので、走っていてすごく気持ち良かったです。コロナ禍の中ですが、人と人とのつながりは大切だと思います。今日の聖火リレーではメディア、ライブなどを通じ、たくさんの方々のつながりのおかげではないかと思っています。



中島純鈴さん

福島県からスタートして30番目に甲賀市に届けられた聖火には、これまで多くの方が、いろいろな思いをつないできたのだなと思います。感動しました。今後の目標は日本選手権に出場することです。今日の聖火ランナーとしての経験がきつとプラスになると思います。



西村瑠夏さん

走ってみるとあっといっ間でした。自分自身、小さい頃から指定難病を患い完治はしていませんが、同じ病気の方、移植された方にも「元気に走ることが出来ます！」という励ましの思いをもって走りました。また家族や先生、友だちに感謝の気持ちを伝えようと思います。



ついにゴール!(市役所)